令和8年8月2日（日）観世会定期能
午後1時開演

【演目・出演者】

能　野宮

前シテ/里女 後シテ/六条御息所	観世三郎太	後見	武田　宗和
			坂口　貴信
ワキ/旅僧	福王　和幸		
間狂言/里人	山本泰太郎	地謡	観世　清和
			岡　久広
			関根　知孝
			藤波　重孝
笛	竹市　学		角　幸二郎
小鼓	飯田　清一		坂井　音雅
			武田　宗典
大鼓	亀井　広忠		関根　祥丸

狂言　蝸牛

山伏	山本　則秀
主	山本　則重
太郎冠者	山本凜太郎

休憩20分（午後3時25分頃）

仕舞

淡路	清水　義也	地謡	武田　尚浩
兼平	浅見　重好		武田　友志
柏崎 道行	山階彌右衛門		坂井　音隆
善界	坂井　音晴		久田勘吉郎

能　融 窕

前シテ/尉 後シテ/融大臣	観世　恭秀	後見	寺井　栄
			上田　公威
ワキ/旅僧	宝生　常三		
間狂言/所ノ者	山本　則重	地謡	武田　志房
			上野　朝義
			藤波　重彦
笛	松田　弘之		小早川　修
小鼓	鵜澤洋太郎		野村　昌司
			木月　宣行
大鼓	大倉慶乃助		武田　文志
太鼓	大川　典良		田口　亮二

附祝言

終演予定　午後5時30分

・諸般の事情により、演目・上演形式・出演者の変更の場合もございます。

・館内の空調はお席によっては冷暖房の温度高低に差がございます。予め御留意いただきますようお願い申し上げます。

・公演中の無断撮影、録音は著作権等の法律に抵触いたしますので、固くお断り申し上げます。

・演能中の見所への入退場につきましては、制限させていただく場合がございます。何卒ご了承ください。

【あらすじ】

能　野宮（ののみや）

旅僧は都・嵯峨野の野宮を訪れる。そこに現れた里女から、今日はかつて光源氏が野宮に六条御息所を訪ねてきた日であることやそれにまつわる物語を聞く。不審そうにする僧に女は自分こそが六条御息所であると明かして消え失せる。やがて夜通し菩提を弔う僧の前に御息所の霊が昔の姿で現れ、賀茂祭での車争いや源氏との昔を懐かしみ、舞を舞う。

狂言　蝸牛（かぎゅう）

主人に蝸牛（かたつむり）を取って来いと言われた太郎冠者だが、蝸牛を見たことがない。主人の言葉を頼りに探すが、藪で寝る山伏を蝸牛と間違えて・・・。

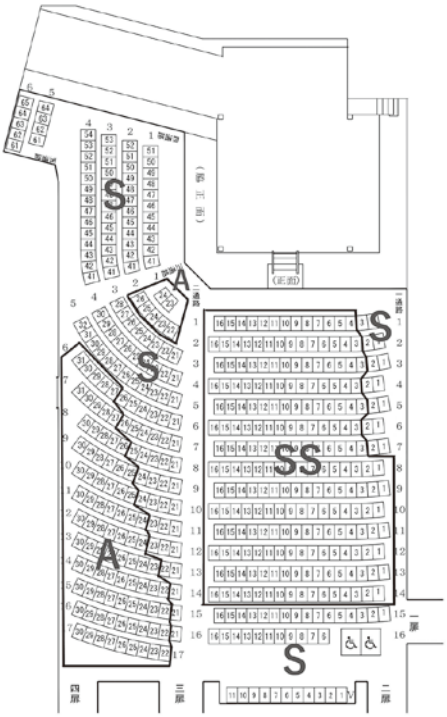
能　融 窕（とおる　くつろぎ）

都・六条河原の院の旧跡を訪れた旅僧は、そこで田子を背負った潮汲みの老人に出会う。老人は、ここはかつての左大臣・源融の旧邸で、陸奥の塩釜の風景を模して庭を造り、風雅を楽しんだ昔を語る。夜になると僧の前に融大臣の霊が在りし日の姿で現れ、月の下で舞い、夜明けと共に消え失せる。

●能面解説

若女（わかおんな）

少女らしさを漂わせる「小面」に比べ、頬が引き締まり、大人の女性の成熟した美が感じられる。本作は幽玄能を演じるために創作された一品で「さみしい若女」と呼ばれる。河内作。江戸時代。



令和8年9月観世会定期能のお知らせ

9月6日（日）　午後1時始

道明寺 笏拍子　山階彌右衛門

松風 見留　観世　銕之丞
観世　淳夫

チケット発売　会場販売　7月5日（日）
電話・インターネット　7月7日（火）

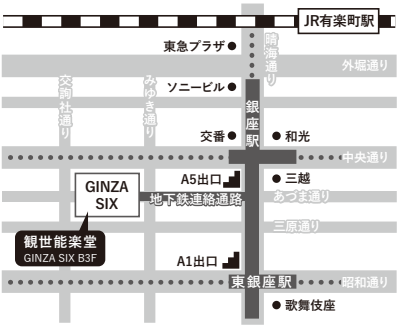
能楽はユネスコ（国際連合教育科学文化機関）による第1回「人類の口承及び無形遺産の傑作の宣言」を受け、世界無形遺産に認定されております。

二十五世観世左近記念　観世能楽堂

東京都中央区銀座6−10−1 GINZA SIX 地下3F
Tel: 03-6274-6579

地下鉄銀座駅からGINZA SIX地下2階につながる地下通路がございます。

●銀座駅／東京メトロ銀座線・日比谷線・丸の内線
A5出口より徒歩2分
●東銀座駅／東京メトロ日比谷線・都営浅草線
A1出口より徒歩3分
●有楽町駅／JR山手線・京浜東北線/
東京メトロ有楽町線　銀座出口より徒歩10分



暮らしを彩る、レイノーの輝き。
1849年、フランスリモージュ地方で生まれたレイノー。エレガントな輝きとこだわりのデザインは、フランスを始め世界各国の著名なホテルやレストランのシェフ達から愛されています。

ERCUIS　RAYNAUD
エルキューイ・レイノー青山店 Tel.03-3797-0911
ハウス食品グループ本社株式会社は、レイノー社製品の総輸入販売代理店です。
ホームページはこちらから

House ハウス食品グループ